

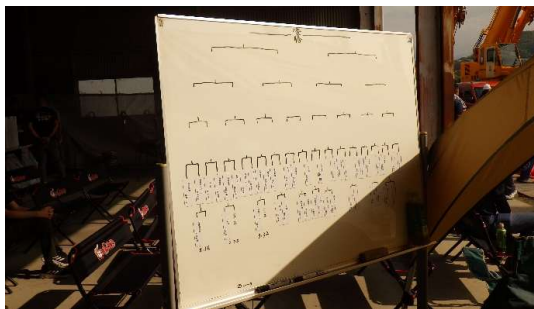
福岡クレーン協同組合が安全技能大会を実施

建災防福岡分会の安全指導者を派遣していただいている「福岡クレーン協同組合(藤井康浩理事長)」が10月27日に、博多区月隈の(株)進和さんの敷地内において、「第14回福岡クレーン協同組合オペレーター技術競技会」が開催され、取材に行ってきました。



組合傘下事業所18社、計43名のクレーンオペレーターが2台のクレーンに分乗し、タイムで7個の風船割りを1回戦、2回戦と行います。

1, 2回戦はクレーンフックの先端に2個の画鋸が付けられ、早割りとタイムを競います。準々決勝以降は、2mのワイヤー先に鉄アレイをぶら下げ、その先端にやはり画鋸が1個付いており、風船は6個となります。



入賞者には豪華景品が用意されています。



昼食BBQを挟み、午後からベスト8の戦いとなります。



かわいい応援団も。



決勝戦を前に藤井理事長より心境を聞かれるお二人。左側、糟屋クレーン大迫さん、右側、松浦重機中村さん



優勝は糟屋クレーン僅差で大迫さんでした。



大会は従業員同士のコミュニティを深め、また操作技術や安全への意識を高める目的で開催され、非常に有意義な1日でした。是非来年も見学参加、よろしくお願い致します。(宮本)